

NWQグローバル厳選証券ファンド 愛称：選択の達人

分配金のお知らせと足元の市場環境について (新型コロナウイルス感染拡大の影響)

2020年11月20日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「為替ヘッジあり／隔月分配型」、「為替ヘッジなし／隔月分配型」は、2020年11月17日に決算を迎え、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。なお「為替ヘッジあり／資産成長型」および「為替ヘッジなし／資産成長型」の決算日は毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）となっております。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり ／隔月分配型	為替ヘッジなし ／隔月分配型
当期決算 分配金	30円	70円
基準価額 2020年11月17日現在	10,572円	9,847円

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセット）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

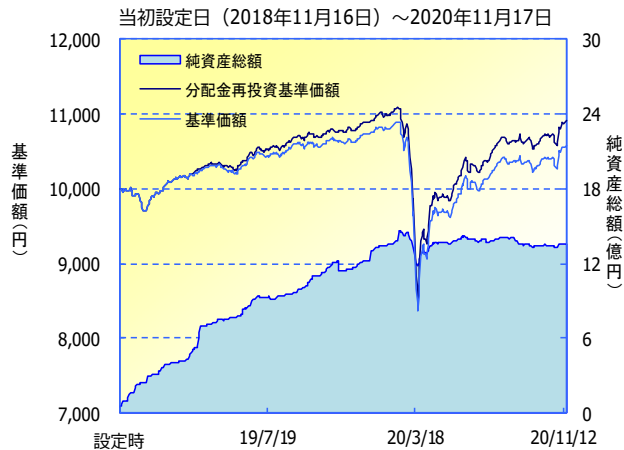
『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』の収益分配方針は、次のとおりとなっています。

〔隔月分配型〕

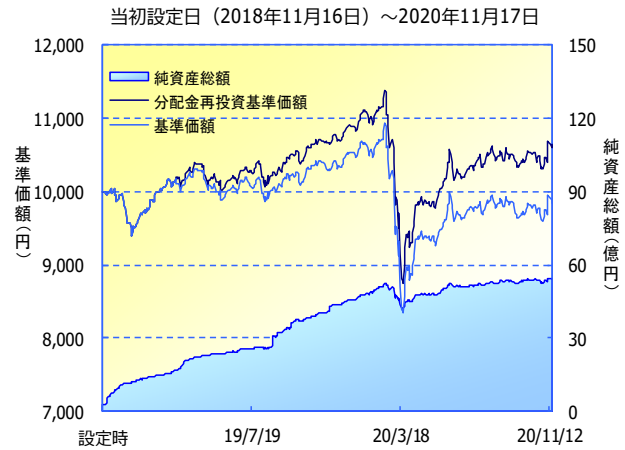
- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

基準価額・純資産の推移

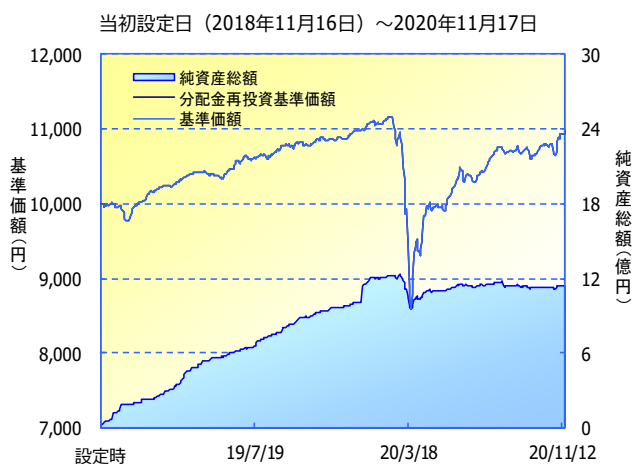
為替ヘッジあり／隔月分配型



為替ヘッジなし／隔月分配型



為替ヘッジあり／資産成長型



為替ヘッジなし／資産成長型



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

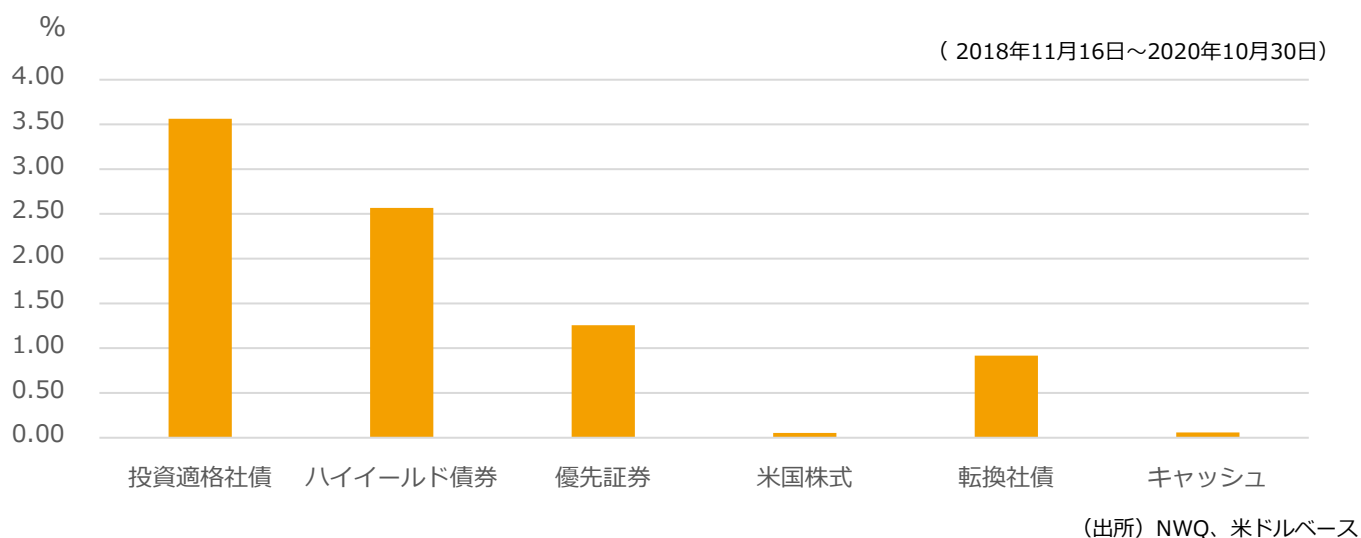
ファンドマネージャーからのメッセージ

米国景気は10年続いた拡大局面の終局にあり、2018年後半以降景気下振れリスクに備えてきたスタンスで運用してきました。2020年の新型コロナウイルス感染拡大による経済の急激な下振れおよび市場の急落というショックを経て、現在ではワクチン開発による景気回復に備えたスタンスに徐々に変えてきております。

しかし株式については先行して上昇してきた分慎重なスタンスは継続しており、引き続き投資適格社債、ハイイールド債券を中心としながら転換社債などリスクを考慮した上で魅力的な証券に投資してまいります。

<設定来の投資行動および寄与度>

■ 設定来の資産別寄与度



景気拡大局面の終盤に備え、債券中心、特に投資適格社債を高めとした運用を実施

リーマン・ショック以降、約10年もの景気拡大が続いていた米国経済は景気拡大局面の終盤にあるとの認識を設定来より持っております。このような認識の下、運用戦略は景気下振れリスクに備える方針の下で、投資適格社債およびハイイールド債券中心のポートフォリオを維持し、その中でも景気変動の影響が大きい企業が発行する株式や債券の売却を進めました。この結果、株式の構成比率が低下し、投資適格債券の構成比率が一層高まる傾向が続いております。

投資適格社債やハイイールド債券で高いリターンを獲得

設定来のリターンは、債券からの収益率が大部分を占めております。(上記グラフ参照)

投資適格社債およびハイイールド債券では、高いキャッシュフローを有する企業の中から、特に景気下振れリスクを意識し、負債圧縮に取り組む優良な企業を選択したことがプラスに貢献しました。

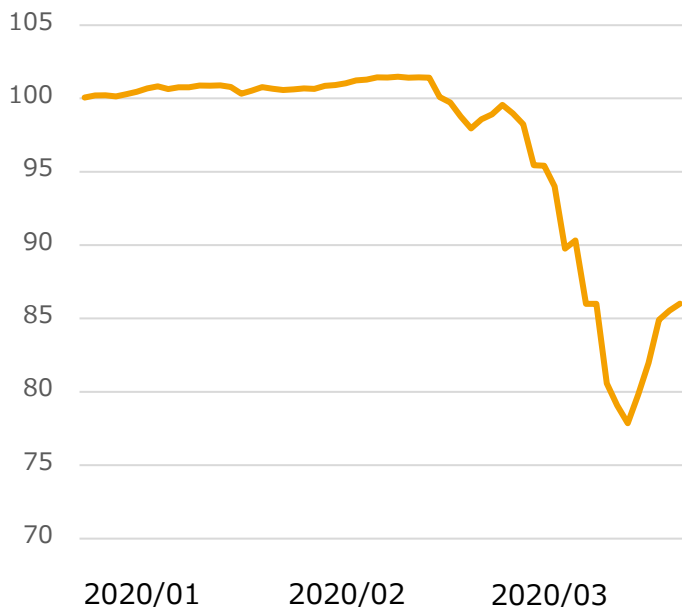
優先証券では、財務体質の良好な銀行が発行する銘柄に選別投資したことがプラスに寄与しました。

景気下振れリスクを意識し、株式下落リスクを抑えながら高い利回りの獲得が期待される転換社債を積極的に組み入れてきたこともプラスに寄与しました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

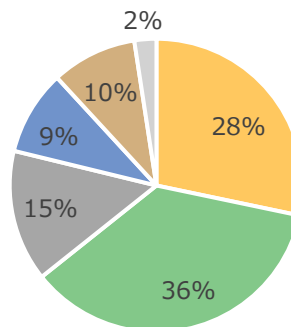
※ファンドマネージャーのコメントは、エヌ・ダブリュ・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

基準価額下落局面の投資行動 (2019年12月末～2020年3月末)

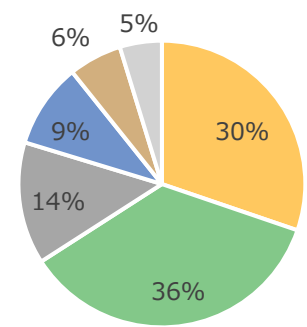


※3379NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）
2019年12月末の基準価額を100として算出。

12月末時点の資産配分



3月末時点の資産配分



■ 投資適格社債 ■ ハイイールド債券
■ 優先証券 ■ 転換社債
■ 米国株式 ■ キャッシュ

出所 NWQ

市場下落局面の投資行動

2020年1月～3月の新型コロナウイルス感染拡大による相場急落局面においては、景気下振れリスクに対し、防衛的なポートフォリオにしていたことからファンドの基準価額下落を抑えることができたと認識しております。

コロナ禍では直接的に悪影響を受ける企業を回避

株式では景気下振れリスクに対応して医薬品銘柄などを中心に組み入れていましたが、コロナ禍では悪影響を受ける航空会社銘柄などを売却して、景気変動の影響を受けにくい企業に絞り込みました。この結果、株式の組入比率は下がり、さらに景気に対して保守的なポートフォリオとなりました。

債券についても、景気下振れリスクへの対応に加え、コロナ禍の悪影響を受けにくい通信やヘルスケア、公益関連企業が発行する債券などを中心に組み入れました。また、外出規制や都市封鎖などによる影響を受けやすいエネルギーやレジャー関連企業が発行する債券を売却しました。

これらの結果、投資適格社債の構成比率がいっそう高まることになりました。

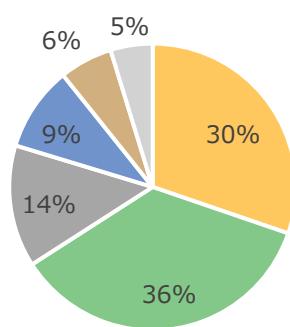
設定来、景気下振れリスクに備えた運用を続けてきましたが、コロナ禍ではそのスタンスをさらに強めました。

基準価額上昇局面の投資行動 (2020年3月末～2020年10月末)

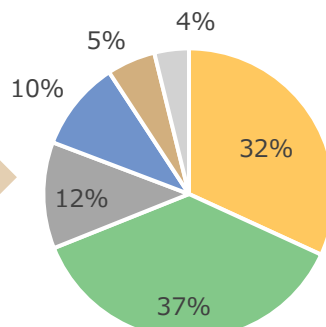


※3379NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）
2019年12月末の基準価額を100として算出。

3月末時点の資産配分



10月末時点の資産配分



■ 投資適格社債 ■ ハイイールド債券
 ■ 優先証券 ■ 転換社債
 ■ 米国株式 ■ キャッシュ

出所 NWQ

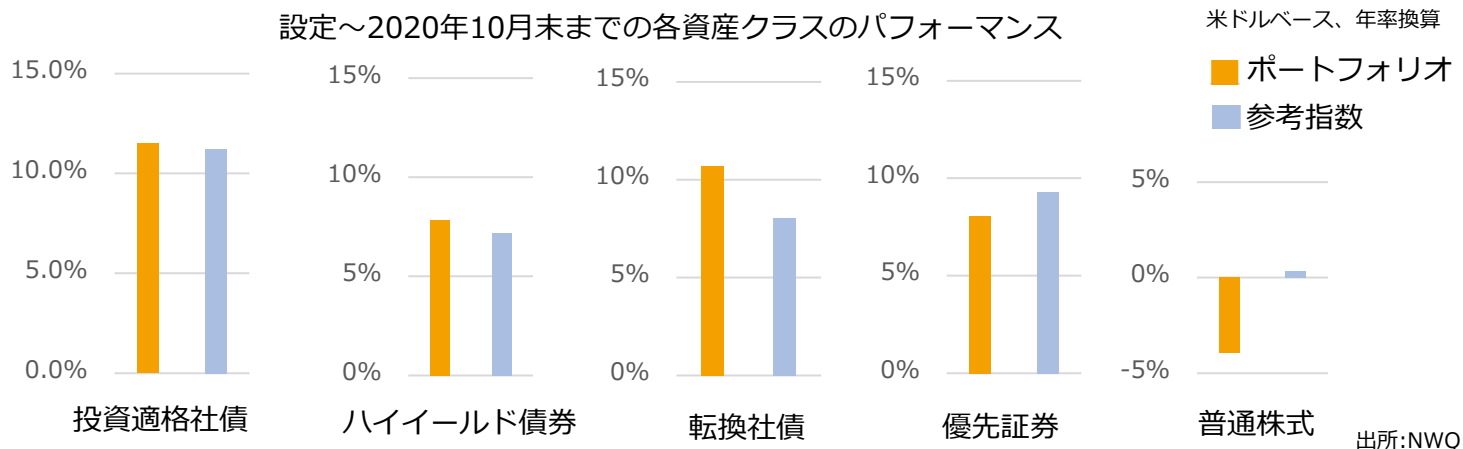
市場が上昇局面に転じて以降魅力的な投資機会をとらえて積極投資

債券では、コロナの影響により、投資適格級から非投資適格級（ハイイールド債券）に格下げとなった銘柄に対して投資適格社債ETF（上場投資信託）などの売却圧力がみられ、割安に放置された銘柄が散見されました。過去の研究から相応の財務基盤を有している企業についてはこのような状況は魅力的な投資機会であると判断し、大手自動車メーカーや婦人服メーカーなど信用力に対して投資妙味のある銘柄のハイイールド債券を組み入れました。

リスクを考慮し、株式より転換社債を高く評価

異次元の金融緩和により金融危機的な状況は避けられたとの見方から、グローバル化学品メーカーなど優良企業が発行する利回り水準が魅力的な転換社債を組み入れるという戦略をとりました。この背景には、新型コロナウイルスが収束していない中で米国株式市場が期待先行で上昇し、株価が実体と乖離（かいり）している企業が多いとの判断があり、株式ではなく利回り水準などが魅力な転換社債を選択したものです。

各資産クラスの銘柄選択について



※当グラフで使用した参考指数について

「投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Value Convertible Index、「普通株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。

主要資産クラスで参考指数を上回るパフォーマンス

設定来でみると、投資適格社債、ハイイールド債券など組入比率の高い資産クラスで参考指数を上回るパフォーマンスとなりました。普通株式については参考指数に対して劣後していますが、これはNWQ社のバリュー投資に不利な投資環境だったためです。ただし、このような相場環境において、株式の組入比率は低く抑えられています。

大統領選挙後の市場環境について

市場の焦点は大統領選から新型コロナウイルスのワクチン開発へ変化

11月3日に実施された米大統領選挙は予想よりも接戦となったものの、大方の予想通り、バイデン氏の勝利が確実視されております。ただし、同時に行われた上院選では共和党が過半を占める可能性が高く、2021年も上下院のねじれ状態が継続する見通しです。このため、バイデン氏がこれまで打ち出していた追加的な景気刺激策に関しても当初よりも小規模なものになる可能性が高いとみられます。

一方、米国大統領選挙という大きなイベントを消化し、今後は新型コロナウイルスのワクチン開発に注目しています。2021年4月～6月期には有効なワクチンが少なくとも1～2種開発され、2021年内に米国にて普及すると期待されています。ワクチンの開発および普及は間接的ながら効果の大きい「景気刺激策」として考えられ、有効なワクチンの登場による経済・社会の正常化により米国のみならず、グローバル経済も大きく回復する可能性があることから注目しています。

今後の運用方針について

コロナ禍からの回復。景気は緩やかに回復に向かうと想定

連邦政府による景気刺激策やFRB（米国連邦準備制度理事会）による大規模な金融緩和策などを受けて、経済および市場は回復基調を継続しています。また、ワクチン開発にも進展がみられていることから、景気回復を視野に入れた運用に移行していく方針です。

引き続き利回りを重視して運用。株式に割高感のあるものは、社債などに投資

このような見通しにおいても、魅力的な企業と最適な証券の選択にあたり、利回りを重視して運用していきます。テクノロジー企業などはコロナ禍の影響を受けにくいと評価しており、これらの企業が発行する投資適格社債などへの投資機会に注目しています。このように、ファンダメンタルズが良好ながらも株式に過熱感や割高感のみられる企業については、社債や優先証券への投資を検討して行きます。

景気敏感な企業が発行する、投資適格社債やハイイールド債券などに投資妙味

新型コロナウイルスの感染拡大の悪影響を受けた企業においても投資のチャンスが出てきたと考えています。設備投資の抑制や株主還元の停止は、株式にはネガティブですが、債券にとっては財務体質の強化につながり、ポジティブな材料です。グローバルの自動車メーカーなどを中心に、利回りと財務健全性を評価して投資していく方針です。またリスクを慎重に評価しながらハイイールド債券への投資も行います。

社債への見直し買いが想定され当ファンドの持ち味が発揮される

質の高さと魅力的な利回りのバランスを有した債券を組み入れた結果、現在のポートフォリオは70%近くを投資適格社債やハイイールド債券が占めています。今後、実体経済と乖離した株式相場の上昇は限定的となり、有望銘柄が割安に放置されていた社債に見直し買いが入ると想定します。当戦略の持ち味が一層発揮され、パフォーマンスの期待できる局面であると考えています。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT

1

債券並みのリスクで株式並みのリターン

POINT

2

有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から
低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

POINT

3

高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

当ファンドの運用を行なう

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニーについて



世界最大級の年金運用機関

TIAA

(全米大学教職員保険年金協会)



nuveen

A TIAA Company

TIAAの資産運用部門

NUVEEN LLC

(スビン)

NWQ
from nuveen

企業分析、バリュー投資のスペシャリスト

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

運用資産残高：約101億米ドル（約1.1兆円*） 従業員：37人（内、運用担当22人）

業界経験年数：平均約20年 運用チームの企業訪問数：約1,200件（2019年）

当ファンドの類似戦略のアナリスト人員数：株式／16人、株式以外／5人

※2020年6月末時点。*換算為替レートは、（2020年6月末時点のレート）1米ドル=107.93円。

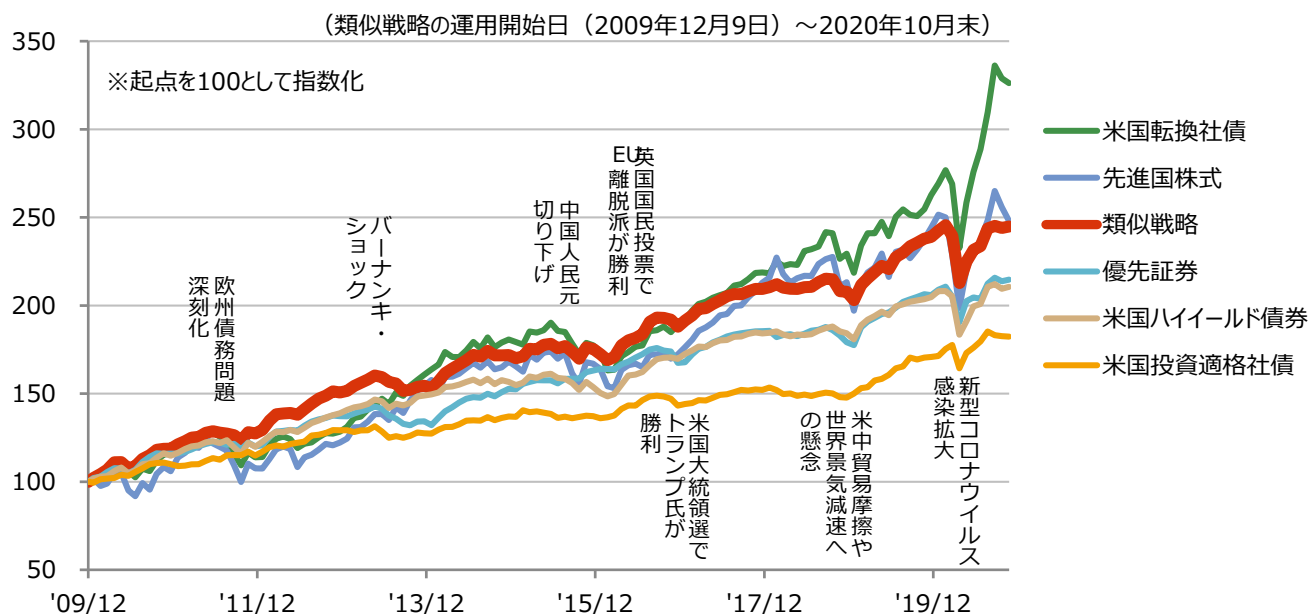
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

Point 1. 債券並みのリスクで株式並みのリターン

当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資しています。

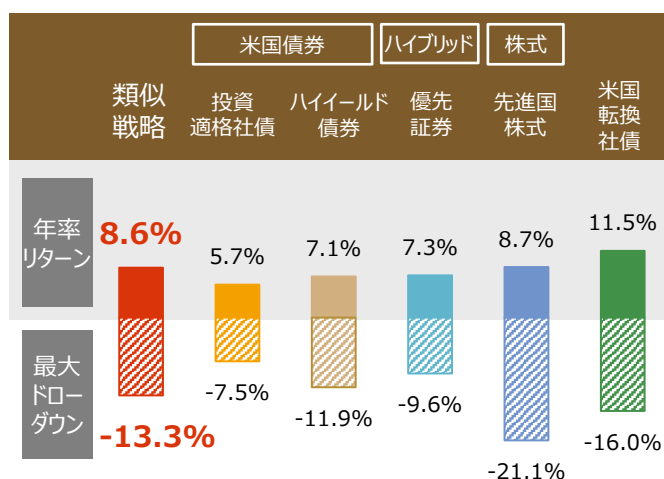
新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく調整したものの、過去、市場が大きく変化する中において、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



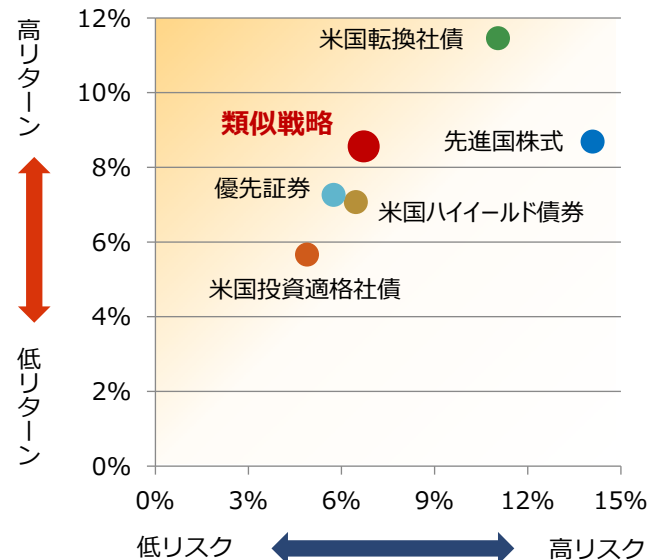
当ファンドの類似戦略の最大ドロウダウン

(類似戦略の運用開始日（2009年12月9日）～2020年10月末）



当ファンドの類似戦略のリスク・リターン特性

(類似戦略の運用開始日（2009年12月9日）～2020年10月末）



*最大ドロウダウン：過去の資産価格のピーク時からどれだけ下落したかを示します。その資産の安定性を図る尺度として使われます。
 ※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持ちます。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「米国転換社債」はICE BofAML US Convertible Indexを使用。
 (出所) NWQインベスメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 2. 有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

当ファンドは、マクロ環境の見通しに基づいて資産配分を行なう一般的なバランス型ファンドとは異なり、徹底した調査・分析に基づいて有望企業を選択し、その企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が良い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券に投資します。

このような独自の投資戦略により、引き続き高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンの獲得をめざします。

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求する選択方法

選択の達人

徹底した企業分析を重視する**ボトムアップ・アプローチ**

“有望企業”の“最適な証券”を厳選し、ポートフォリオを構築

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求

ポートフォリオ

株式

債券

優先証券

転換社債

ステップ2

“最適な証券”
の選択

同一企業が発行する複数証券の中から、最適な証券を選択

A社

株式
債券
優先証券
転換社債

C社

株式
債券
優先証券
転換社債

E社

株式
債券
優先証券
転換社債



A社



B社



C社



D社



E社

バリュートリートメントに定評がある株式リサーチチームの企業分析により有望企業を選択

(ご参考)
一般的なバランスファンド

マクロ経済分析を重視する**トップダウン・アプローチ**

経済見通しに基づきポートフォリオを構築

ステップ1 マクロ経済の分析

景気、金利など市場環境を分析し、資産配分を決定

ステップ2 各資産内で投資銘柄を選定

魅力度に応じて各資産クラスの中で投資銘柄を調整

ポートフォリオ

株式

債券

優先
証券

転換
社債

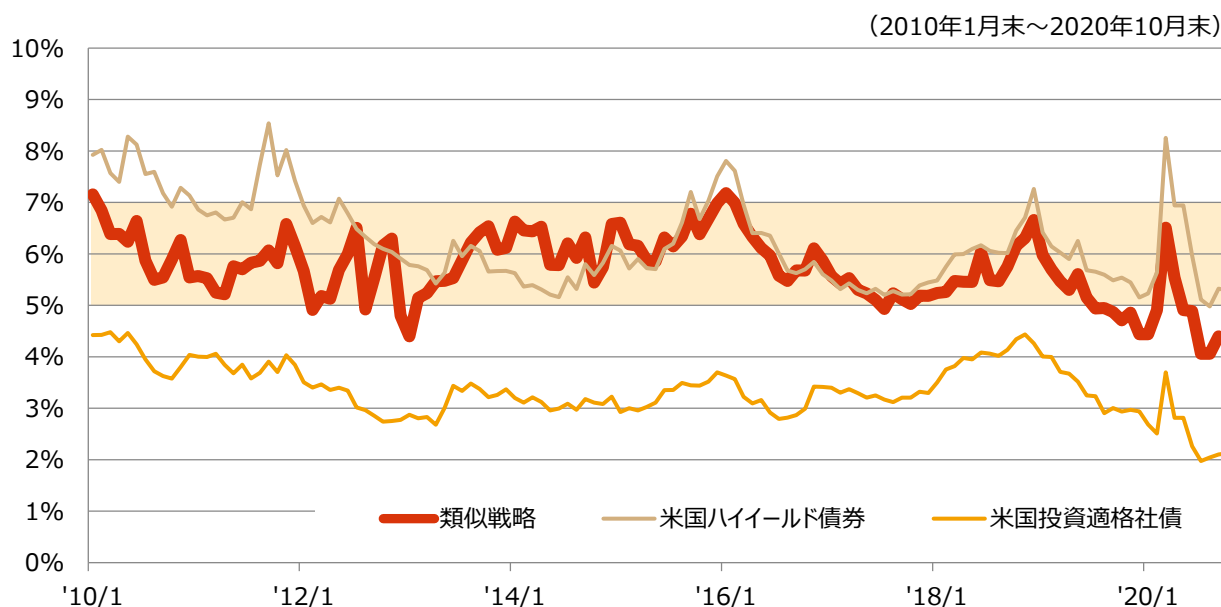
※上記は資料作成時点のものであり、今後見直す場合があります。※上図はイメージです。

(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

Point 3. 高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

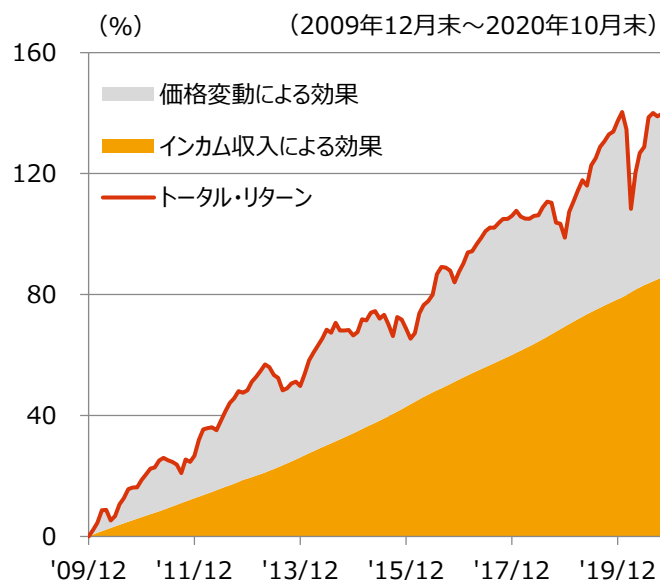
当ファンドの類似戦略の利回りは、相対的に高い水準を維持してきました。

利回りの推移



相対的に高いインカムの積み上げがパフォーマンスを下支えし、当ファンドの類似戦略は累積でプラスのトータル・リターンをあげています。

当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析



(2010年～2020年)

トータル・リターン			
		① インカム収入	② 価格変動
2010	18.7%	6.4%	12.3%
2011	6.7%	5.9%	0.8%
2012	17.1%	5.7%	11.4%
2013	0.9%	5.9%	-4.9%
2014	11.2%	6.3%	4.9%
2015	1.4%	6.5%	-5.2%
2016	11.1%	6.3%	4.8%
2017	9.9%	5.4%	4.5%
2018	-3.5%	5.9%	-9.4%
2019	19.4%	5.3%	14.1%
2020	1.0%	4.1%	-3.1%
累積	139.7%	85.6%	54.1%

* 2020年は10月までのデータ。

※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Indexを使用。

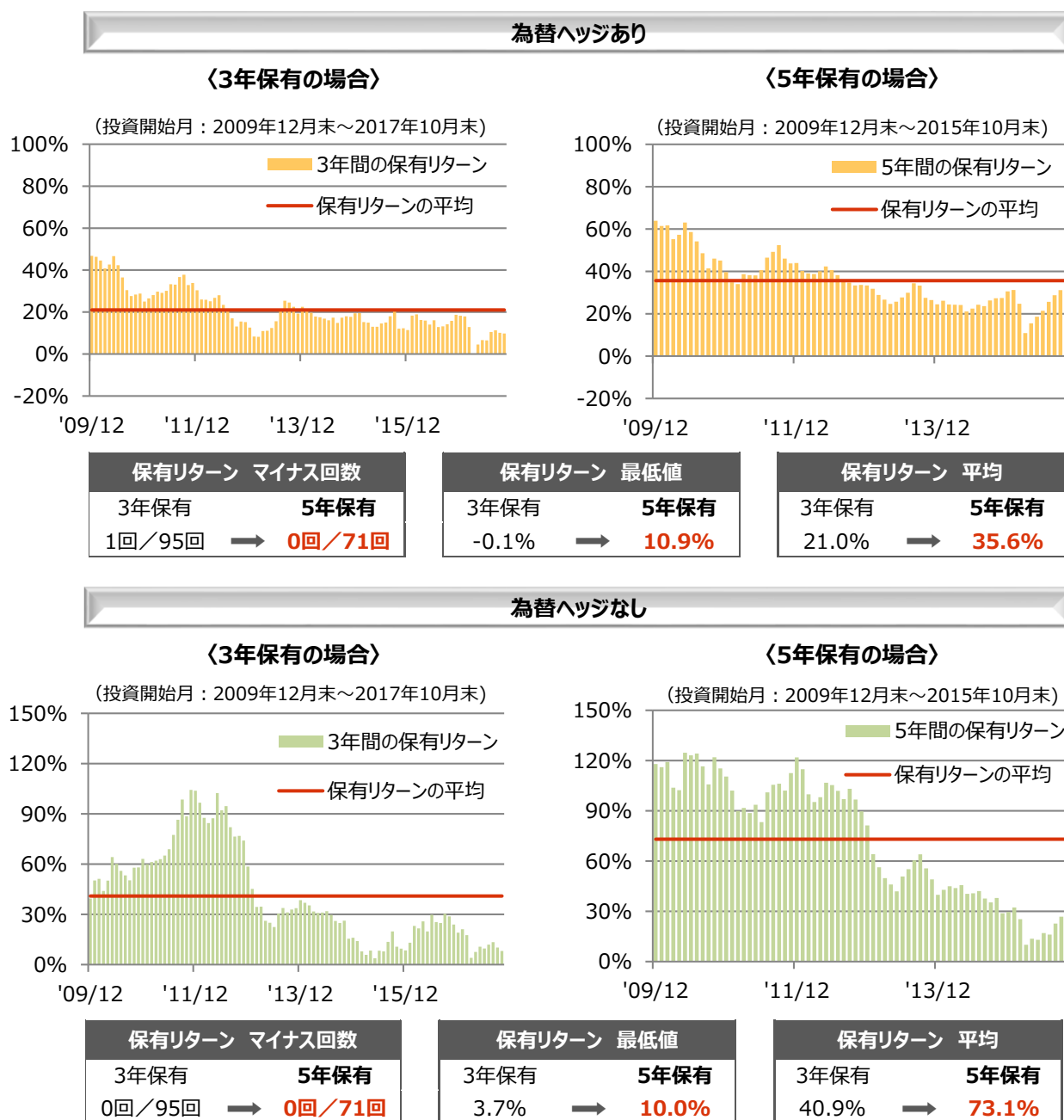
(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

(ご参考) 長期保有で安定したリターンを獲得

当ファンドの類似戦略は、相対的に高いインカムの積み上げにより、5年間継続保有したと仮定した場合、「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」のいずれにおいても全期間プラスのリターンとなりました。

当ファンドの特徴である高いインカムは、時間の経過とともに安定的に積み上がっていくため、長期保有によってその効果を最大限に享受することができます。

類似戦略の保有期間別リターン



※「3年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2012年12月末までの3年間保有したと仮定したリターン。「5年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2014年12月末までの5年間保有したと仮定したリターン。※「為替ヘッジなし」は円換算ベース。※上記の類似戦略は、当ファンドの投資対象ファンドである「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）（ヘッジなし・クラス）」と同様の運用チーム、投資哲学により運用された類似ファンドの米ドルベース、費用控除前のパフォーマンスを円ベースに換算した結果を表しており、当ファンドの運用実績とは異なります。また、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドの投資対象ファンドとは異なります。※上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「為替ヘッジあり」は為替ヘッジコストを考慮しています。

(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

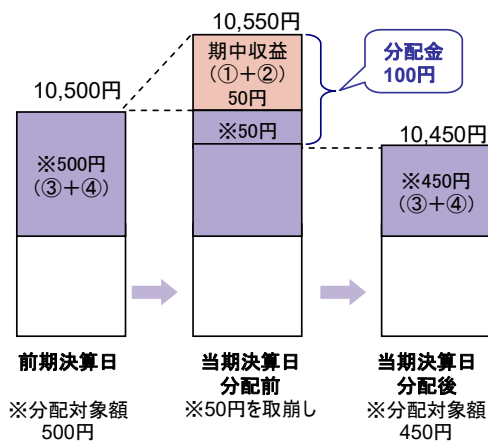
投資信託で分配金が支払われるイメージ



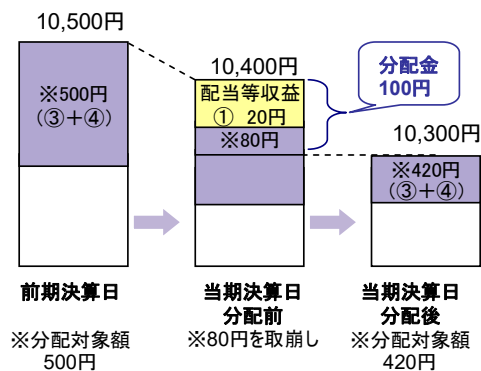
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



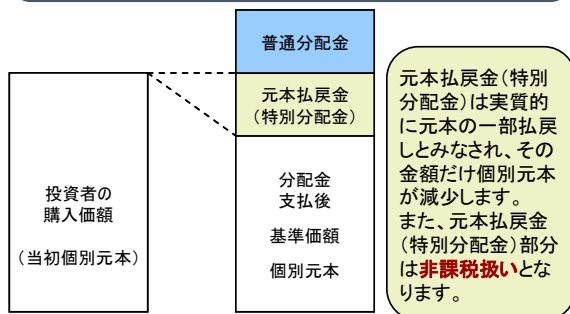
前期決算日から基準価額が下落した場合



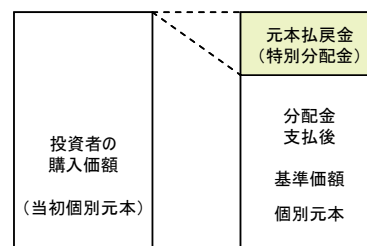
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. [隔月分配型] は年 6 回、[資産成長型] は年 2 回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

[隔月分配型]

毎年 1、3、5、7、9、11 月の各 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

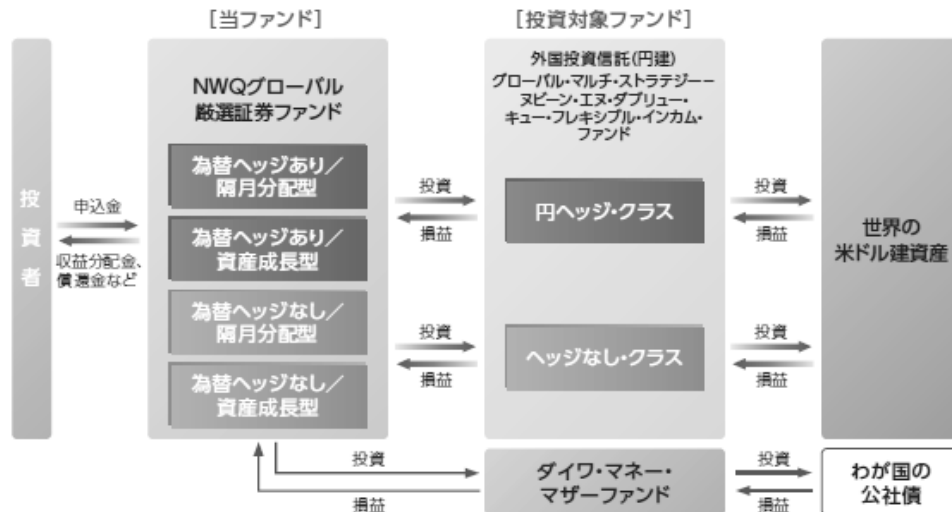
[資産成長型]

毎年 3 月 17 日および 9 月 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- ① NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）：為替ヘッジあり／隔月分配型
 - ② NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）：為替ヘッジなし／隔月分配型
 - ③ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）：為替ヘッジあり／資産成長型
 - ④ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）：為替ヘッジなし／資産成長型
- ◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。
- ◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。
- ◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コントリ・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.6775% (税込) 程度	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産形成型）（為替ヘッジなし／資産形成型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○